

Rotary

2019-20 年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

2019-20 年度 国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
RI 2630 地区 岐阜東濃グループ



中津川ロータリークラブ

題字：吉川義康

例会プログラム

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱・ソング「奉仕の理想」
3. ゲスト・ビジターの紹介
4. 食事と交歓
5. 会長の時間
6. 6月のお祝い
7. 雑誌の紹介 情報・研修委員会
8. 出席報告 例会運営委員会
ニコボックス発表 親睦委員会
9. 委員会報告、幹事報告
10. 卓話 各理事 活動報告・退任挨拶
11. 閉会点鐘

への教育も熱心ではありません。コーチの私は子供の教育も指導のうちだと思い、いじめっ子を校舎の裏に連れて行って二人で話しをしました。そのうちに、いじめっ子らも一生懸命サッカーに取り組むようになり、早朝練習にも熱心に出てきました。6年生になって全国大会予選に臨む時、私は中津川市にUターンすることになり、栄少年サッカースポーツ団を離れることになりました。送別会では子供と親達が私を胴上げしてくれて、私は涙が止まりませんでした。

数年前、私が鶴ヶ島市に帰り、栄少年サッカースポーツ団に入っている小学3年生の孫の試合に見に行ったら、当時私が教えていた子供が立派にコーチとして指導していました。また、当時のいじめっ子の1人が埼玉県でも有名な進学校を卒業したという話しを聞いて、時間が経つとともに子供達が立派に成長していることを感慨深く思いました。

会長の時間



2019-2020年
第62期 中津川ロータリークラブ

会長 吉川 義康

『“子どもの夢”支援事業の原点』

私が中津川市に帰るまでの平成8年4月から平成10年8月までの間、埼玉県鶴ヶ島市の栄小学校を練習場とする「栄少年サッカースポーツ団」のサッカーコーチとして、地元の小学生に技術指導をしていました。このスポーツ団は地元では伝統があり結構実力のあるサッカークラブでした。

当時、私は鶴ヶ島市から東京都まで通勤していましたが、私の自宅前に栄小学校のグラウンドがあるため、小学生らが練習している風景をよく見掛けました。私もかつて中津高校のサッカー部に所属し大学でもサッカー部に入っていました。

ある日、私が近所の小さな男の子を栄小学校グラウンドでサッカーを教えていたところを栄少年サッカースポーツ団の人に見られ、その場でコーチになることを頼まれました。私もサッカーが好きでしたので、社会奉仕のつもりで引き受けましたが、サッカー指導は初めてですので、沢山の教本を買い込んで勉強しました。

また、この頃子供の間ではいじめ問題があり、私が担当したチームの中でもいじめがありました。いじめをする子供の親は全くサッカーに無関心で、子供



この度、私が中津川ロータリークラブの奉仕活動として、元日本代表選手や元なでしこ選手を招いて講演会や少年サッカー教室を開き、“子供の夢”支援事業を企画したのは、スポーツを通じて子供達が立派に成長してほしいからです。

これから、リニア中央新幹線の間際を抱えて日本中から注目される中津川市が、本当に安心・安全な暮らしができる街として発展するためには、子供の教育をしっかり行い、将来の中津川市を背負う子供を沢山増やすことだと思います。

友愛の席

【青葉びより】松月堂

栗あんを丸め、表面に抹茶をまぶしました。濃いめの抹茶と栗あんの調和が魅力です。

